



平成28年3月期 第2四半期 決算説明会

クボテック株式会社

概要

- ◎液晶をはじめとするFPD分野では、大手FPDメーカーの設備投資は、一部において引き続き前向きな動きが見られました。
- ◎当第2四半期は、売上は前年同期とほぼ同額で、損益は当初計画の範囲には収まりましたが、赤字となりました。
通期において、画像処理外観検査装置をはじめ受注を確保し、黒字化に向け努力する所存であります。
- ◎当社グループは、引き続き新規事業、新製品の開発をはじめ、コスト削減などの対策と事業構造の改革にも取り組み、安定した売上と利益の確保に努めております。
- ◎新規事業の次世代フライホイール蓄電システムの開発は順調で、早期の事業化に向け注力しております。独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)からの助成も継続しており、4年目を迎え研究の成果が新規事業に結びつくものと確信しております。

経営成績

(単位:百万円)

	当第2四半期 (平成27年9月期)	前第2四半期 (平成26年9月期)	前 期 (平成27年3月期)	当期予想 (平成28年3月期)
売上高	1,446	1,474	3,462	3,380
営業利益(△損失)	△ 66 (△4.6%)	68 (4.6%)	119 (3.4%)	155 (4.6%)
経常利益(△損失)	△ 73 (△5.1%)	61 (4.2%)	111 (3.2%)	135 (4.0%)
当期純利益(△損失)	△ 83 (△5.8%)	541 (36.7%)	535 (15.5%)	125 (3.7%)

◎当第2四半期は、売上高は前年同期に比べ、製品ごとの増減はあったもののほぼ横這いでしたが、損益は主力製品である画像処理外観検査装置の総利益の減少などから赤字となりました。

◎通期においては、画像処理外観検査装置の受注獲得などで売上を確保し、当初計画を達成するべく努力する所存であります。

◎海外子会社も堅調に推移しており、通期においても業績に寄与するものと予想しております。

貸借対照表

(単位:百万円)

	当第2四半期 (平成27年9月期)		前第2四半期 (平成26年9月期)		前 期 (平成27年3月期)	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)
流動資産						
現預金	1,160	30.2	1,493	38.9	1,292	32.6
売上債権	1,227	32.0	784	20.4	1,134	28.6
在庫	490	12.8	574	15.0	532	13.4
その他	△ 28	△ 0.8	△ 43	△ 1.1	8	0.2
固定資産	990	25.8	1,030	26.8	997	25.2
資産計	3,841	100.0	3,839	100.0	3,963	100.0
流動負債	2,024	52.7	2,215	57.7	2,288	57.7
固定負債	640	16.7	335	8.7	409	10.3
負債計	2,664	69.4	2,551	66.4	2,697	68.1
資本金	1,951	50.8	1,951	50.8	1,951	49.2
利益剰余金	△ 717	△ 18.7	△ 627	△ 16.3	△ 633	△ 16.0
その他	△ 58	△ 1.5	△ 35	△ 0.9	△ 51	△ 1.3
純資産計	1,176	30.6	1,288	33.6	1,266	31.9
負債及び純資産合計	3,841	100.0	3,839	100.0	3,963	100.0

◎総資産は、前年同期末に比べ、売上債権が4億円増加し、現預金、在庫などで4億円減少した結果、38億円となりました。

◎負債は、前年同期末に比べ、借入金などの増加で26億円となりました。

◎純資産は、前年同期末に比べ、純損失の計上から約11億円となりました。

報告セグメント別売上高

(単位:百万円)

	当第2四半期 (平成27年9月期)		前第2四半期 (平成26年9月期)		前 期 (平成27年3月期)	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)
日 本	841	58.2	1,050	71.3	2,633	76.1
米 国	236	16.3	200	13.6	498	14.4
韓 国	368	25.5	223	15.1	329	9.5
計	1,446	100.0	1,474	100.0	3,462	100.0
うち海外	1,048	72.5	1,065	72.2	2,191	63.3

◎日本では、主力製品である画像処理外観検査装置をはじめ3DCADシステム、IPネットワーク監視システムなどの製品が、当初計画の範囲ではありますが、前年同期に比べ減収となりました。

◎米国では、CAD/CAMソフト「KEYCREATOR」の売上が伸び悩み、当初計画を下回りました。

◎韓国では、韓国大手FPDメーカー向けの画像処理外観検査装置関連部品の販売や改造工事が堅調で増収となりました。

キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	当第2四半期 (平成27年9月期)	前第2四半期 (平成26年9月期)	前 期 (平成27年3月期)
I.営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 280	211	6
II.投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 86	963	914
III.財務活動によるキャッシュ・フロー	235	△ 718	△ 693
IV.現金及び現金同等物に係る換算差額	0	2	29
V.現金及び現金同等物の増加額	△ 131	458	257
VI.現金及び現金同等物の期首残高	1,199	942	942
VII.現金及び現金同等物の期末残高	1,068	1,400	1,199

◎営業活動によるキャッシュ・フローは、純損失の計上、売上債権の増加と仕入債務の減少などから2億8千万円の支出となりました。

◎投資活動によるキャッシュ・フローは、CAD/CAMソフト「KEYCREATOR」の開発投資などで8千万円の支出となりました。

◎財務活動によるキャッシュ・フローは、銀行借入等により2億円の収入となりました。